

区政会議におけるご意見
～主に【安全安心まちづくり】に関するご意見～

年月 令和8年1月

番号	ご意見・質疑内容	対応方針 (令和8年1月時点)
1	【町会の加入について】 ・新しく転居されてきた方が町会にほとんど加入しない。町会加入促進のため、転入手続時に町会費の用途（防犯カメラ・街灯管理等）がわかるものを配布するなど、周知してほしい。	転入者に配布する書類に、町会の活動内容（防犯対策、防災訓練、地域行事など）を分かりやすく記載した町会加入案内チラシを同封し、転入者に町会への加入を促しています。また、区民まつりや乳幼児検診の際にも加入案内のチラシを配布し、区の広報紙やホームページでも啓発を行っています。 引き続き様々な手法で加入促進を進めてまいります。
2	【防災の啓発活動について】 ・自助・共助が重要であると区民に知ってもらうために、イベント等で参加人数を増やしていく必要があるが、どのような方向性で考えているのか。	日頃から「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えを持っていただき、災害時に適切な避難行動ができるよう自助・共助の重要性を理解していただくために、各種イベントでの啓発や広報紙などを活用した防災情報の発信、消防署と連携した地域での防災訓練や小中学校での防災学習の実施支援、百歳体操の場などで出前講座の実施を行っており、より多くの方が参加しやすい啓発活動をめざしております。
3	【特殊詐欺被害防止について】 ・特殊詐欺被害防止などの啓発について、警察署にお願いする以外に、区役所にも何か啓発をお願いできることがあるのか。	区役所では、地域や警察署等と連携した防犯パトロールや防犯キャンペーン活動の実施に取り組んでおります。また、特殊詐欺被害防止機器の無償貸与を実施しており、百歳体操の場などで出前講座を実施するなど様々な機会において積極的な啓発活動にも取り組んでおります。
4	【古い路地の改修について】 ・地域の高齢化が進む中、古い路地のあちこちに穴が空いているのが気になっている。特に、シルバーカーを押して通る方などにとって危険な場所も何箇所もある。こうした場所を修理してもらおうとすると、近隣の数軒から許可を取らないといけないと聞いたことがあり、実際どうすれば改修してくれるのか教えてほしい。	大阪市が管理する道路や公園等の不具合を見つけた場合、「おしえ太郎」をご活用ください。スマートフォンカメラ等のカメラ機能とGPS機能を利用し、画像と位置情報を送信できます。 なお、緊急を要する場合は、建設局平野公営所（06-6705-0102）に電話してください。

区政会議におけるご意見
～主に【安全安心まちづくり】に関するご意見～

年月 令和8年1月

ご意見内容
<p>【町会の加入について】</p> <ul style="list-style-type: none">・町会に入るといふ関心が薄い人が多く、また、加入の促進をしてもメリットを聞かれることが多い。皆で協力して情報交換をすることなどをアピールしていきたい。・町会加入者が減少しており、若い人の取込みができていないことが課題だと思う。また老人クラブへの加入も減っているため、高齢者が外出する機会を作りたい。
<p>【地域での活動について】</p> <ul style="list-style-type: none">・各町会で百歳体操やスマホ教室などの行事を行っているが、歩けないなどの理由で参加できない人への対策が大切だと思う。・青少年指導員の中にはユースリーダーという若い世代の部門があるが、平野区にはユースリーダーがない。若者の活動参加意欲を上げることが大事だと思う。・地域のイベントや防災訓練などでは若者のボランティアの協力が少ない。町会長や役員は年齢層が高いためイベントの企画を行っても実行が難しく、若い人の力が必要になる。若い人たちにボランティアで助けてもらえないかという話ができる場所を設定があれば良いと思う。・地域の人々がどのような活動をしているのかということが、子どもたちに伝わっていないと思う。次の世代につなげるためにも、活動の意義を伝える工夫が必要だと感じる。
<p>【街路樹の剪定について】</p> <ul style="list-style-type: none">・街路樹の上の葉を切る方と、下の葉を切る方がバラバラなので一緒に作業するなどして統一感がほしい。また、いちょうの木の葉が落ちて家の前が大変になっているので常緑樹への転換などの対策も進めてほしい。
<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none">・長原東地域は市営住宅が多い地域なので、大きな地震が起きても家屋の倒壊は少ないと思うが、高齢者の一人暮らし世帯もあるため、災害が起きた際は安否確認や部屋の片づけなどの支援策を進めたいと思っている。・加美地域は災害時に備え、安否確認タオル（被害がない場合、自宅の玄関に白タオル掲出）による安否確認の取組を防災訓練で行っているが、平野区全体でも取り組んでほしい。・災害時に学校の体育館に避難した際に、高齢者が多い地域なので、小学校高学年以上の子どもや中学生にも、避難時の誘導など簡単な役割で関わってほしいと考えている。・災害時は親子が連絡を取れないことが考えられるので、町別・住所ごとに避難時の集合場所の案内があると親子が再会しやすい。・タオルを半分に折って背中に掛けたり、三角形にして肩に掛けることで、目や耳の不自由な方が識別できるという取組をやっている地域があると聞いたことがある。こうした取組がより広がることで、避難時の助け合いや配慮が進むと思う。・防災イベントに子どもはなかなか参加しないので、遊びがメインのイベントの中に防災の要素を組み込んで、子どもたちが気軽に参加できる場を作れたらと考えている。・地域防災リーダーの高齢化が進んでいるのではないかと感じる。
<p>【特殊詐欺被害防止について】</p> <ul style="list-style-type: none">・特殊詐欺の被害額が大きいため、被害に遭わないよう注意を呼びかけることが重要だが、特に伝えたい方々に十分に周知できていないことが地域の課題だと感じている。
<p>【未利用地の活用方法について】</p> <ul style="list-style-type: none">・平野区の未利用地には、商業施設や、マンションばかりが建設されている中で、子どもたちが自由に出入りできる施設がもっと必要だと思う。そうした施設ができれば、親同士の交流も自然に広がると思う。・商業施設も必要だが、高齢者や子どものため、そして防災も考えた施設がもっと必要ではないかと感じている。・休日・夜間急病診療所で毎日診察してくれる病院は西区にしかないが、平野区や周辺の人口が多い区に高齢者も安心して利用できる救急外来や、防災・子育て支援の機能を備えた施設が1箇所でもできれば、救急車を呼ばなくてもみんなが安心して利用できる拠点になると思う。
<p>【空き家について】</p> <ul style="list-style-type: none">・市営住宅の空き家が多いので、条件を緩和して若い世代の入居を促進してほしい。
<p>【クビアカツヤカミキリについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の桜の木を次々と切ることになっているので、捕まえるなどしてクビアカツヤカミキリのふ化をおさえる手立てはないか。

区政会議におけるご意見
～主に【地域福祉】に関するご意見～

年月 令和8年1月

番号	ご意見・質疑内容	対応方針 (令和8年1月時点)
5	<p>【地域福祉活動コーディネーターについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域福祉活動コーディネーターの年齢制限はあるのか。・地域福祉活動コーディネーターが見つからない状況が続いている地区があるが、区役所から人を推薦してもらえないか。	<p>この事業は、平野区役所から（社福）大阪市平野区社会福祉協議会へ委託している事業となっております。</p> <p>その中で、地域福祉活動コーディネーターにつきましては、「概ね小学校区ごとの各地域に選任し、配置すること。その際に、原則として、受注者との雇用契約を締結すること。」と定められています。従いまして、地域福祉活動コーディネーターの年齢制限についても、受注者との雇用契約によるものとなり、区社協に確認したところ、区社協の非常勤嘱託職員の就業規則に則っているとのことでした。</p> <p>また、選任に際しても、受注者によることとされております。なかなか候補者がおられない場合など、区役所としても把握した人材情報については、当該人の同意を得て区社協と連携を図ってまいりたいと考えております。</p>

ご意見内容
<p>【地域福祉活動コーディネーターの周知について】</p> <ul style="list-style-type: none">・長吉長原東地域では12月から新しい地域福祉活動コーディネーターが配置された。町会の役員はそのことを把握しているが、それ以外の住民はそもそもコーディネーター制度自体が始まることを知られていないのが現状である。告知やアピールができておらず、周知が課題である。・自分が地域福祉活動コーディネーターに就任した際は、区社協から自分の名前入りのチラシをいただき、役割の説明を受けた。そのチラシを百歳体操やふれあい喫茶に来られた方に配布し、コーディネーターの活動内容を周知している。また、地域の会議にも出席し、主に役員の方々に対して活動の公表を行っている。
<p>【見守り活動について】</p> <ul style="list-style-type: none">・見守り活動において、要援護名簿を活用しながら、孤独死などの対策をしていかなければならないと考えている。・見守り活動をやりたいと手を挙げてくれた方の協力を得て、要援護者名簿や地域で気になる方を地図にまとめ、町会長や関係者と一緒に訪問している。その際にチラシを配布して相談窓口の周知も行っている。また、町会未加入世帯にも積極的にチラシをポスティングし、相談窓口の存在を伝えることで孤独死や見守りが必要な方の早期発見につなげている。・高齢化で一人暮らしの方が増えているが、市営住宅の建替えに伴う引っ越しへの不安を感じている方が多いと見守り活動を通して感じている。

区政会議におけるご意見
～主に【こども教育】に関するご意見～

年月 令和8年1月

番号	ご意見・質疑内容	対応方針 (令和8年1月時点)
6	<p>【若者の地域活動への参画について】</p> <p>・高校生と大学生に区政に関する意見を聞きたいというのが目的なのか、それとも区の行事やイベントに参加してもらうなど若者と一緒に活動を行い地域の活性化を図るのが目的なのか。</p>	<p>区内の教育機関と連携し、区役所の事業や地域のイベントなどにおいて、高校生や大学生等の若者が区政や地域活動に参加できるような機会を確保することで、地域活動において新たな活力や交流をもたらすよう若者との協働を進めるとともに、区政運営の推進において、若者からも区政に関する意見を聴くなどの仕掛けを検討してまいります。</p>
7	<p>【幼稚園・保育園との意見交換について】</p> <p>・市立幼稚園等の園長先生と意見交換というのがあるが、民間の保育園や幼稚園の園長先生などとの意見交換は難しいのか。</p>	<p>民間の保育園・幼稚園の園長との意見交換は行っておりませんが、子育て支援担当において、子育て支援関係者連絡会に参加し、民間の保育園や幼稚園の代表者の方から各園での状況等をお聞きして、顔の見える関係づくりをさせていただいております。</p>
8	<p>【市立学校園との連携について】</p> <p>・区内の小・中学校と区役所との連携について、具体的に教えてほしい。</p>	<p>読書ノートを活用し、達成者には区長表彰を行うなど、読書習慣の定着を推進しています。「校内や地域の清掃」や「あいさつの励行」など年間を通じて継続的にがんばった児童生徒に対しは「がんばる小学生・中学生区長表彰」を実施し、自尊心の向上を図っています。また、こども学力等サポート事業を実施し、放課後等の時間帯に大学生等の指導員を派遣し、こどもたちの学習をサポートしています。さらに、不登校児童生徒及び保護者をサポートするため、こどもの生きる力育成支援事業を実施し、居場所づくりや保護者の相談対応等の支援に取り組んでいます。</p> <p>また、平野区における本市施策の推進に関し、小中学校長との必要な連絡調整や意見交換等を行うことを目的に、平野区教育行政連絡会を実施しています。</p>

ご意見内容
<p>【若者の地域活動への参画について】</p> <p>・多くの基礎自治体がこどもの計画等について、様々な形で当事者であるこどもや若者の声を聞く取組が行われている。若者にどのようにまちの中で大人と一緒にパートナーという形で参画してもらえるかがとても大事だと思う。</p>
<p>【こどもの見守り隊について】</p> <p>・保護者が、誰が見守り隊をやっているのかを知らない。地域では様々な活動をしているが、宣伝力の足りなさが一番の課題である。保護者やこどもへの認知向上が必要だと思う。</p> <p>・朝はPTAが見守りをし、放課後は地域の人に頼んでいるが仕事で立てない人が増加し誰もいない交差点もある。また、高齢の方が多くなり人手不足の問題もあるので保護者の方が見守りチャームのようなものを身に付け、犬の散歩や買い物、出退勤の際に見守りをしてもらうことを検討している。</p>
<p>【学校教育について】</p> <p>・学力格差が拡大していることが非常に気にかかる。</p>